

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	理科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		東京書籍
教科書名		新編 新しい理科
調査 ・ 研究 の 項目	A 内容の選択	<p>○単元末に「ふりかえろう」という手書き風のページがあり、児童が学習内容をまとめる一助となる。また、「たしかめよう」では、学習の定着を図るための簡単な問題が記載されており、学習の定着に有効である。</p> <p>○実験のやり方について「やり方」というQRコードがあり、実験方法を確認したり、復習に活用したりできる。</p> <p>○理科の学び方を身に付け、科学的事象を多面的に考察する力を付けるための学習活動が工夫され、「問題をつかむ → 調べる → まとめる」という形がとても分かりやすい。</p>
	B 構成・分量	<p>○予想の場面で、さまざまな考えが提示され、多面的な考えがあることが分かる。</p> <p>○SDGsについて取り上げられ、よりよい環境を残していくためにできることを提案し、理科学習を通して自分にできることは何かを考えさせる構成となっている。</p> <p>○実験観察におけるカラー写真が豊富に掲載されており、実際にできないまたは欠席している場合にも、補助的に使用でき、自分で考えることができる。</p>
	C 表使用・上表の現便及び宜	<p>○教科書の様々な場所にQRコードが提示されており、デジタルワークシートやその単元の実験や観察の仕方などの動画を視聴することができる。</p> <p>○A4サイズで写真や図も大きく掲載されており、とても見やすく分かりやすい。</p> <p>○UDフォントの使用し、色覚特性に合わせたデザインを採用し、紙の軽量化を図っている。</p>
	D その他	<p>○ノートと合わせやすいサイズになっている。</p>

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	理科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		大日本図書
教科書名		新版 たのしい理科
調査 の 項 目	A 内容の 選択	<p>○問題を見つける場面や、予想や実験をするときのポイントなどが表記されていて、考える力を付けるための学習活動が工夫され、充実した内容になっている。</p> <p>○巻頭に描かれたマンガに各学年でのポイントになる思考が押さえられており、課題設定も児童がより身近に感じられるものとなっていて興味関心が高められるようになっている。</p> <p>○基礎基本の定着のため、単元末に「確かめよう」や思考力を深めるための「学んだことを生かそう」があり、児童の学習の定着に有効である。</p>
	B 構成・ 分量	<p>○単元の導入時に、プロローグとなる問題が提起されており、これから学習する内容が、児童に把握しやすい構成となっている。</p> <p>○電磁石の単元では、電磁石を操作して気付いたこと、疑問に思ったことから学習問題をつくっている。（電磁石の作り方は、単元の途中で記載されている。）</p> <p>○「たしかめ」の問題では、問題数がちょうどよい量で、深めようのコーナーでは、学習したことをより深め、サイエンスワールドというコーナーで生活に関係している科学的豆知識でより興味をもてるようになっている。</p>
	C 表使用 ・上 表の 現便 及び宜	<p>○実験の様子がQRコードにより動画で視聴できるため、登校していない児童の学習や予習復習をする際に役に立つ。</p> <p>○A4版サイズで大きく、大きな写真をふんだんに使い、顕微鏡を使わなくても興味をもってじっくりと観察することができる。</p> <p>○実験や考察で子供のイラストの会話が分かりやすく、写真の人物は、性別以外にも、国籍問わず多種多様になっていて、考慮されている。</p>
	D その 他	<p>○大きさがちょうどよく手に取りやすい。</p> <p>○手触りが少しザラザラしており、めくりやすい紙質である。単元末についている問題や、教科書に鉛筆で書き込む時に書きやすい。</p>

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	理科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		学校図書
教科書名		みんなと学ぶ 小学校 理科
調査 ・ 研 究 の 項 目	A 内容の 選択	<ul style="list-style-type: none"> ○考察の場面、伝えあいの場面、話し合いの場面など、多様な学び方を紹介し、児童の主体性を伸ばせるように配慮している。また、見方や考え方を、問題解決の過程でどのように働かせるかを、具体的な活動や資料を基に、児童に考えさせる場面を設けている。 ○学び方を身に付け、科学的事象を多面的に考察する力を付けるための学習活動が工夫され充実した内容になっている。 ○5年「種子の発芽と成長」では、イネの発芽を冒頭に掲載している。学校によっては総合的な学習な時間でイネを育てるところもあるため、より児童の興味関心が高められると考えられる。
	B 構成・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「科学の芽をそだてよう」のページがあり、理科モンスターのキャラクターがいろいろな見方や考え方を働かせるためのツールとなっていて興味を高める工夫がされている。 ○5年生は、「ふりこの運動」を最初に学ぶ構成になっており、条件制御の考え方を定着させてからその後の学習に生かすことができるようになっている。 ○新しい単元の最初のページに、単元の系統性が示されており、既習内容を想起しやすい構成になっている。また、問題を見つけようという学習の入りでは、ここに注目という虫メガネの中にヒントがあり、児童が自ら問題を見出す工夫がされている。
	C 表使用・ 上 表の 現便 及び宜	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の縦の長さがB版の短めで、コンパクトなため、机の上にノートと教科書を置いて作業する場合に活用しやすい。 ○「科学の芽」のコーナーでは、学習のポイントを「理科モンスター」としてまとめ、児童が親しみをもって大切なポイントを意識できるように工夫されており、QRコードで実験結果を動画で見ることができる。 ○4人の登場人物の吹き出しにある言葉を友達の考えのように自然に受け止め、考えを親しみをもって学習できるようになっている。
	D その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートと同じサイズになっていてよい。 ○QRコードから端末上でも問題に答えることができる。 ○裏表紙にSDGsとの関連が書かれている。

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	理科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		教育出版
教科書名		みらいをひらく 小学理科3、未来をひらく 小学理科4 未来をひらく 小学理科5、未来をひらく 小学理科6
調査 の 研 究 の 項 目	A 内容 の 選 択	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだことを身に付け、自然現象や自然物を多面的に見ることができる学習活動が工夫されて、それらが充実した内容になっている。 ○話し合いの話型があり、他教科（国語）との関連付けがされている。「学習前の○○さん」「学習後の○○さん」という形で課題と結論が端的に書かれており、対話を通して考え合える流れになっている。 ○各学年のコラム「広がる科学の世界」では、最先端の科学技術が取り上げられており、児童がより科学への興味を高められるような内容となっている。巻末の「環境ミニ図鑑」では、環境保全の取り組みを記載し、児童の環境保全に対する意識を高められる内容となっている。
	B 構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○「確かめよう」のページは出題数が多く、教科書に直接書き込むことができ、基礎・基本を定着するための反復練習に工夫がある。 ○見開きで「問題・予想・方法」が一覧できるようになっており、結果が見えないため授業で活用しやすい構成になっている。また、イラストよりも文章が多く、実験方法の手順や考察など、細かく記載されている。 ○学習に関係のあるウェブサイト「まなびリンク」があり、教科書の内容を視覚的に理解しやすくなっている。
	C 表 使 記 用 ・ 上 表 の 現 便 及 び 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○下学年や上学年の単元のつながりが明記されているため、児童がどの既習単元と結び付けたらよいか考えやすい。 ○自分たちで授業を作ることが全般を通じて書かれており、4年生の教科書では、問題に対する答えを予想する言い方をていねいに指導できるようになっている。言葉の面からも支えている。ところどころに出てくるイラストの少年少女の会話文にも伝え合いのヒントが書いてある。 ○色覚多様性への配慮があり、資料が大きく見やすい。ページごとの情報が非常に多い。また、観察前に確認しておきたいことや、注意点についてQRコードの記載がある。
	D そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に著名人からのメッセージがあり、別の角度からの科学への見方が興味深い。 ○他教科との関連（巻頭に国語との関連 伝え合い学び合い）について書いてある。

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	理科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		新興出版社啓林館
教科書名		わくわく理科
調査 ・ 研究 の 項目	A 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に理科を学ぶ意義や有用性が伝わるように、日常生活や社会に関連した話題が掲載されており、理科の学び方がサークルになっていて次時へのつながりが分かりやすい。 ○単元末に「まとめノート」という手書き風のページがあり、児童が学習内容をまとめる一助となる。また、「たしかめよう」では、学習の定着を図るための簡単な問題が記載されており、学習の定着に有効である。 ○単元末の「くらしとリンク」で日常生活と深く関連した場面の内容が取り上げられ、発展的な内容を興味深く学習できる。SDGsとの関連性もある。分からない時のスマート解説もパソコンを使って自分で学習できる。
	B 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の始めと終わりに、同じ問いを投げかけて、再考させることで学びを深めることができるように工夫されている。 ○問題解決の過程が、「問題⇒予想と計画⇒実験⇒結果⇒考察しよう⇒まとめ」という学びのサイクルで統一され、学びが積み重なり深まるような全体構成となっている。また、各実験器具の使い方が記載されているだけでなく、それを活用する単元のページに、「○ページに検流計の使い方」のように、目次形式で記載されており分かりやすい。 ○教科書の見開きで問題・予想・方法が一覧できるようになっている。結果は次のページに載せてあるので、授業でも使いやすい。
	C 表使用・上表の現便及び宜	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が意図的に見方・考え方を働かせることができるように、ラインを引いて、問題解決学習を支援していて、ノートのように分かりやすく掲載されている。 ○縦サイズがB版でコンパクトなため、机の上にノートと教科書を置いて作業する場に活用しやすい。 ○実験の動画だけでなく、既習内容の復習のための動画など、QRコードが様々な場面で活用できるようになっていて、ICT活用コンテンツが充実している。
	D その他	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の軽量化をしている。 ○巻末のオッターの資料室が親切。他教科との関連や書くコツ等の指導ができる。